

中 部 版

地域の催しは
中部支局へ
KOHJI@nifty

大浜公園再整備の情報提供

民間事業者の意向を確認

静岡市は、24日からの「2020年度第2回PPP/PPF地域プラットフォーム」に、大浜公園再整備事業の情報提供し、民間事業者などの声をさらに集めたい考えだ。予定では、4・5月までに実施方針案を公表、パブリックコメントなどを経て21年度末までに方針と要求水準書を固める。22年度の早期段階で事業者公募に踏み切る。

静岡市 PPP/PPF地域プラットフォーム



大浜公園再整備イメージ図

社会資本整備(PPF)方式を活用している同事業では、これまで4回のサウンディング調査で、民間企業延べ70社、実費50社弱からのリサーチを行っているが、さらに意見を求める。25年度のオープンを目指す。大浜公園の再整備は、既存施設を全面撤去して、流水・水泳・幼児用プールやウォータースライダーを整備する。公園ゾーンは民間収益施設と一体的に、芝生、遊具、

土地利用事業の適正化 指導要綱改正へ

静岡市

静岡市は、「土地利用事業の適正化に関する指導要綱」の改正案をまとめた。都市計画区域外の面積1・5分の土地利用事業に関して、指導要綱に

大幅な改正点は見受けられないが、都市計画区域外の土地利用事業で、面積1・5分の指導要綱の適用除外としたのは、都市計画法の発効許可手

続きとの重複を避け、事業者の負担軽減と事務手続きの簡素化を図った。ただし、土地利用事業2000平方メートル未満は他の指導要綱に適用しないため、また、5分には周辺環境へ及ぼす影響を配慮して、これまで通り指導要綱に基づく手続きを要するものとしている。

また、1974年に策定された指導要綱には、国の法令化整備が追いつかなかつたため、市が独自に別荘、ゴルフ場など用途ごとの個別基準を設けて指導に当たっていた。現在まで指導要綱として存続し、手続きの重複や、窓口で新たな関係法令での手続きを指示するなどしていた。今回の改正で、個別基準を削除し、スリム化を図る。

測定業務は、基準点測量100点(2級1点、3級5点、4級9点)、用地測量20点、地形測量0・2平方メートル、区域測量5・72点、工作物調査20点(防霜ファン)など。不二総合コンサルタント(浜松市北区)が2月26日の納期で担当。

場所は、静岡市駿河区池田地区の日本平動物園近くの丘陵地で、ほぼ平坦な茶畑が広がっている。市が7・5%。

受益面積は主に水田で49・6分。場所は牧之原市中。市内は94年完成。受益面積は水田を中心に72・3分。場所は同市勝俣。

トウズリ(静岡市駿河区、海野三男社長)は1月30日、本社周辺の道路清掃ボランティア活

海野社長をはじめ、他の営業所も参加。作業を終えた社員は「例年に比べて、たばこの吸い殻などは少なかったが、泥で詰まった側溝があり、みんなで協力して回復した。近隣住民が「苦労さま」と声を掛けてくれた励みになった。お世話になっていく地域のために継続していきたい」と話した。

指名3件を3月

焼津漁港管理



舗装する第1船渠内港西岸壁

静岡県焼津漁港管理事務所は、3月にも中港地区の陸開カメラ設備改良、城之腰マイナス7分南岸壁の防眩材設置工事それぞれ指名競争入札で発注する予定。工事規模は1000万円未満。工期は4カ月程度。

中港地区の舗装は、第1船渠内港西岸壁の延長約80分間のアスファルト舗装約1800平方メートル。石津地区の陸開カメラ設備改良は、制御局

東豊田池田地区で着手

農地中間管理機構関連農地整備

静岡県中部農林事務所は、静岡市駿河区の東豊田池田地区で、農地中間管理機構関連農地整備事業に着手する。農地の集約を図り、生産性の向上につなげる。順調なら、2021年度に設計、22年度から25年度の4年間で工事を完了させる計画。20年度は測量業務を進めている。

測量業務は、基準点測量100点(2級1点、3級5点、4級9点)、用地測量20点、地形測量0・2平方メートル、区域測量5・72点、工作物調査20点(防霜ファン)など。不二総合コンサルタント(浜松市北区)が2月26日の納期で担当。

場所は、静岡市駿河区池田地区の日本平動物園近くの丘陵地で、ほぼ平坦な茶畑が広がっている。市が7・5%。

受益面積は主に水田で49・6分。場所は牧之原市中。市内は94年完成。受益面積は水田を中心に72・3分。場所は同市勝俣。

トウズリ(静岡市駿河区、海野三男社長)は1月30日、本社周辺の道路清掃ボランティア活

海野社長をはじめ、他の営業所も参加。作業を終えた社員は「例年に比べて、たばこの吸い殻などは少なかったが、泥で詰まった側溝があり、みんなで協力して回復した。近隣住民が「苦労さま」と声を掛けてくれた励みになった。お世話になっていく地域のために継続していきたい」と話した。

劣化調査を開始

中・庄内排水機場設備

静岡県志太原農林事務所は、牧之原市の勝間田川流域にある中・庄内排水機場の調査設計を、松和技研(浜松市中区)に委託した。納期は3月15日まで。

2020年度内の完了をめどに、これまでポンプ、ディーゼル機関、歯車減速機、ゲート、除じん機などの設備更新を行ってきた両施設で、今後の長寿命化に向けた機能保全計画を策定するために劣化度等を調査する。

中は1994年完成。受益面積は主に水田で49・6分。場所は牧之原市中。市内は94年完成。受益面積は水田を中心に72・3分。場所は同市勝俣。

トウズリ(静岡市駿河区、海野三男社長)は1月30日、本社周辺の道路清掃ボランティア活

海野社長をはじめ、他の営業所も参加。作業を終えた社員は「例年に比べて、たばこの吸い殻などは少なかったが、泥で詰まった側溝があり、みんなで協力して回復した。近隣住民が「苦労さま」と声を掛けてくれた励みになった。お世話になっていく地域のために継続していきたい」と話した。

海野社長をはじめ、他の営業所も参加。作業を終えた社員は「例年に比べて、たばこの吸い殻などは少なかったが、泥で詰まった側溝があり、みんなで協力して回復した。近隣住民が「苦労さま」と声を掛けてくれた励みになった。お世話になっていく地域のために継続していきたい」と話した。

地域貢献

就業体験で12人受入れ

橋本組(焼津市、橋本真真社長)は3日、大学生や専門学校生を対象としたインターンシップを行い、12人が参加した。学生らは建設が進むタレントクルームの現場事務所、工事概要や完成パース、施工図を用いた説明を聞き、現場担当から話を聞く学生ら

当者の案内を受けながら施設内を見学した。現場でのコミュニケーションの重要性、状況に応じた対応など、経験談に耳を傾けた。その他、設計提案事例や施工実績の紹介、若手社員と交流、最後に研修の振り返り、講評を行った。研修の担当者は「社員に対して熱心に質問する学生の姿が印象に残っている。建設業に興味を持ってもらえればうれしい」と話した。

21年度から着手

基本計画策定

静岡市は、第4次総合計画に向けて、2021年度から新たな取り組みの基本計画の策定作業に着手する。同計画は、都市緑地法第4条の「緑の保全及び

緑化の推進に関する基本計画」で、第2次総合計画に合わせて10年に策定した計画を15年4月に改訂した。市では、新たな計画にどういったメニューを盛り込むのかの基本的な作業を行う予定で、これに伴う業務を委託する。今後、数年を掛けて策定作業を進める。第3次総合計画

静岡市が24・26日 WEBで開催

PPP/PPF地域プラットフォーム

静岡市は、2020年度第2回のPPP/PPF地域プラットフォームに、大浜公園再整備事業の情報提供し、民間事業者などの声をさらに集めたい考えだ。予定では、4・5月までに実施方針案を公表、パブリックコメントなどを経て21年度末までに方針と要求水準書を固める。22年度の早期段階で事業者公募に踏み切る。

を聞く。24・26日にWEBを利用して行う予定で、大浜公園、アリーナ誘致など、市または近隣で計画されている6事業の情報提供と情報交換を行う。

地域貢献

道路を清掃

トウズリ(静岡市駿河区、海野三男社長)は1月30日、本社周辺の道路清掃ボランティア活

海野社長をはじめ、他の営業所も参加。作業を終えた社員は「例年に比べて、たばこの吸い殻などは少なかったが、泥で詰まった側溝があり、みんなで協力して回復した。近隣住民が「苦労さま」と声を掛けてくれた励みになった。お世話になっていく地域のために継続していきたい」と話した。